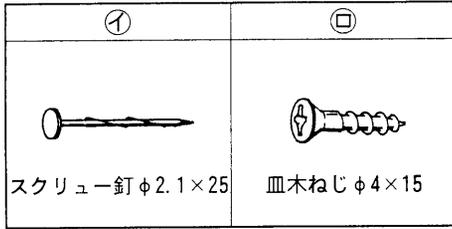


### ■お願い…

- ガラスを入れる前にオペレーターハンドルを取り付けてください。  
(別紙説明書をご覧ください。)
- 後付けビードは、別売りで用意してありますのでご利用ください。

### ■ねじ一覧表

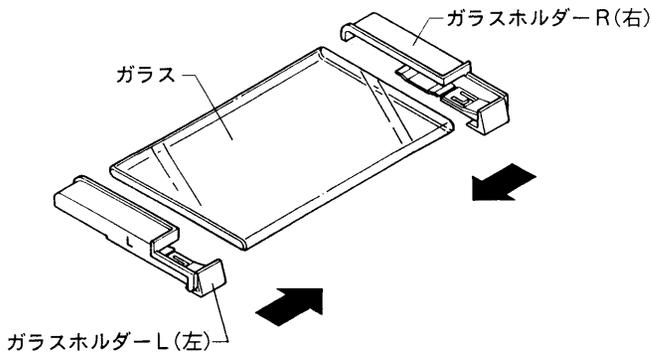
- 図中の①～④はねじの種類を表す。



### ■ガラスの取付け順序

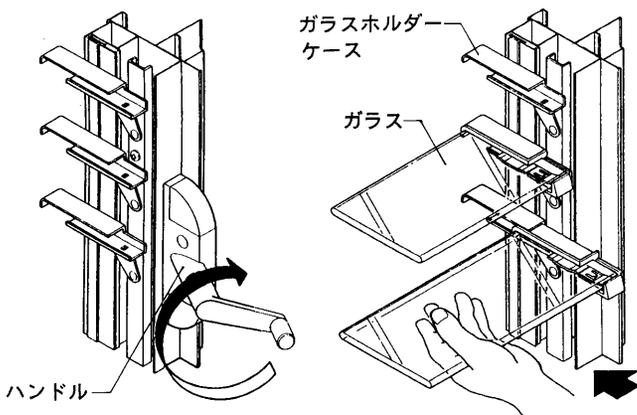
#### ①ガラスホルダーの取付け

- ガラスの左右両端にガラスホルダーを差し込みます。
- ※型板ガラスの場合模様面が下になるようホルダーをセットしてください。



#### ②ガラスホルダーケースへの取付け

- ①オペレーターハンドルでガラスホルダーケースが水平になるまで回します。
- ②ホルダーをセットしたガラスを差し込みます。  
(詳細図①参照)



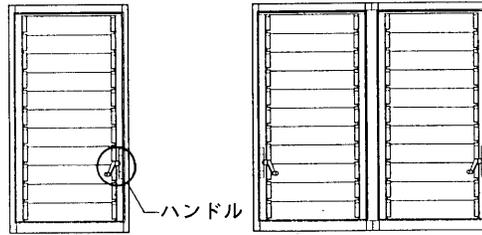
#### ③FIX部のガラス入れ

- ①①・②の順でガラスを入れます。
- ②左右の縦枠への押縁を押し込みます。
- ③後付けビードを回します。(詳細図②参照)



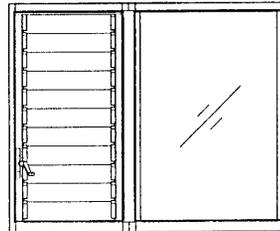
### ■タイプ別ガラス寸法表

#### ●ガラスルーバー窓

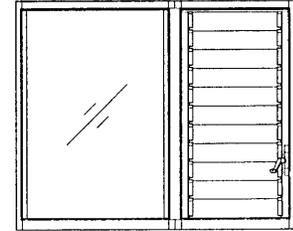


※内観表示です  
(J:ルーバー窓)

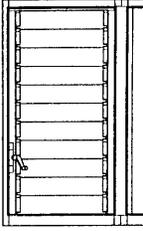
#### ●ガラスルーバー窓連窓セット (JFタイプ)



#### (FJタイプ)



#### (JFJタイプ)



#### ●在来工法用(ガラスルーバー窓)

W \ H	1.0尺	1.5尺	2.0尺	3.0尺	4.5尺	6.0尺
1.2尺	-	85×302(4)	85×497(4)	85×682(4)	85×515(8)	85×741(8)
1.5尺	-	85×302(5)	85×497(5)	85×682(5)	85×515(10)	85×741(10)
2.0尺	-	85×302(7)	85×497(7)	85×682(7)	85×515(14)	85×741(14)
2.5尺	-	85×302(9)	85×497(9)	85×682(9)	85×515(18)	85×741(18)
2.8尺	-	85×302(11)	85×497(11)	85×682(11)	-	-
3.0尺	85×197(11)	85×302(11)	85×497(11)	85×682(11)	85×515(22)	85×741(22)
3.5尺	-	85×302(14)	85×497(14)	85×682(14)	85×515(28)	85×741(28)
4.0尺	-	85×302(16)	85×497(16)	85×682(16)	85×515(32)	85×741(32)
4.5尺	-	85×302(18)	85×497(18)	85×682(18)	85×515(36)	85×741(36)
5.0尺	-	85×302(20)	85×497(20)	-	-	-
6.0尺	-	85×302(24)	85×497(24)	-	-	-
6.5尺	-	85×302(26)	85×497(26)	-	-	-
7.3尺	-	85×302(30)	85×497(30)	-	-	-

#### ●204JFタイプ ●204FJタイプ

H	W		尺呼称	4.5尺
	尺呼称	メートル呼称		
2.5尺	07	07	85×302(10)	12
			737×714(1)	
3.0尺	09	09	85×302(12)	12
			887×714(1)	

#### (表の見方)例: JFタイプ

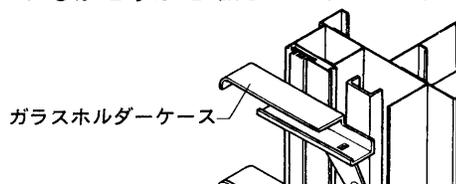
H	W		尺呼称
	尺呼称	メートル呼称	
2.0尺	07	07	85×302(7) →ルーバー窓
			548×769(1) →FIX窓

※( )内はガラス使用枚数。

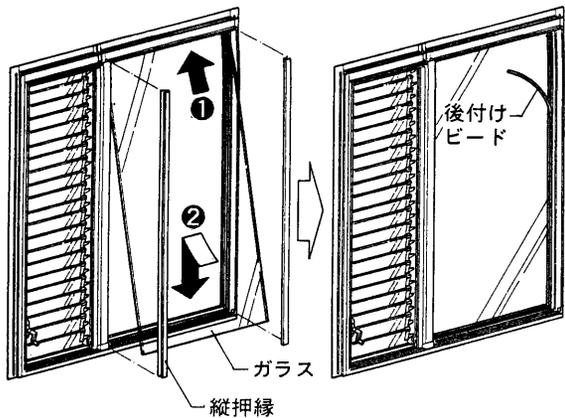
### ■ガラスの取付け詳細

#### ①ガラスホルダーケースへのガラスの取付け

- ※ホルダーの突起部とホルダーケースの穴がかみ合っているか手で引いて確認してください。ガラスが抜ける時はガラスホルダーを強く押し込んでください。(A部詳細参照)
- ※防犯上、ホルダーケースの穴にホルダーの突起部がきちんと入っているかどうかを確認してください。



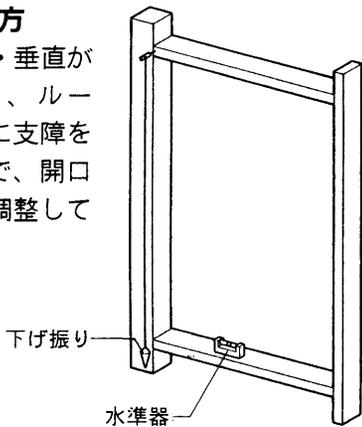
③後付けビードを回します。(詳細図②参照)



■サッシ本体の取付け順序

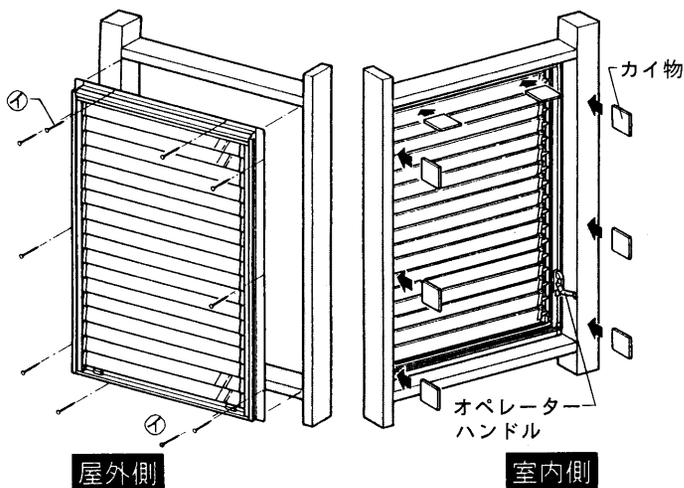
1 開口部の作り方

- 開口部の水平・垂直が正しくないと、ルーバー部の開閉に支障をきたしますので、開口部は念入りに調整してください。



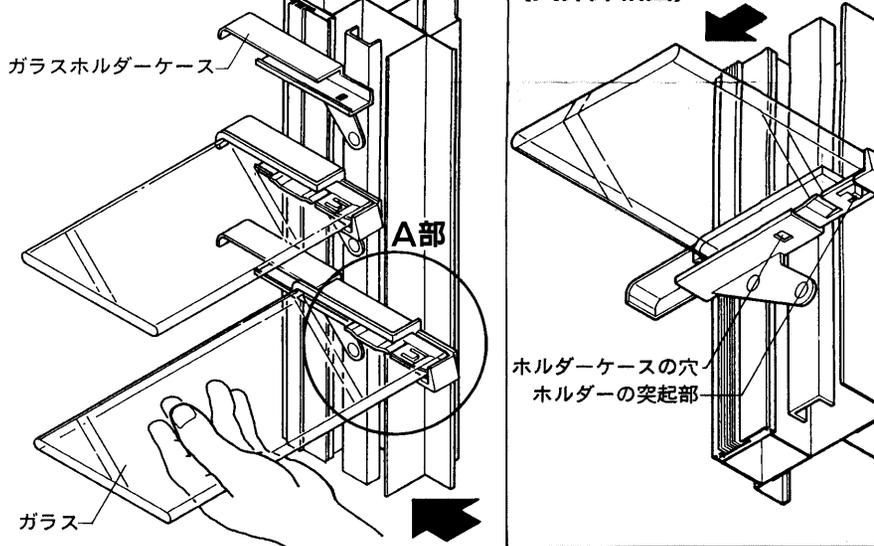
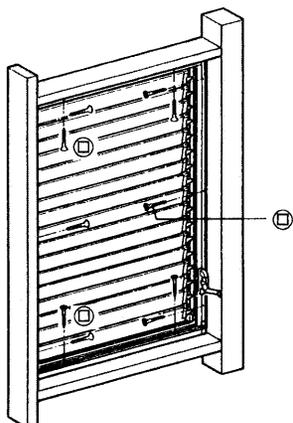
2 本体の仮取付け

- ① 枠の直角を出しながら仮止めします。
- ② 躯体と枠の透き間は、室内側からカイ物を入れて調整してください。



3 本体の固定

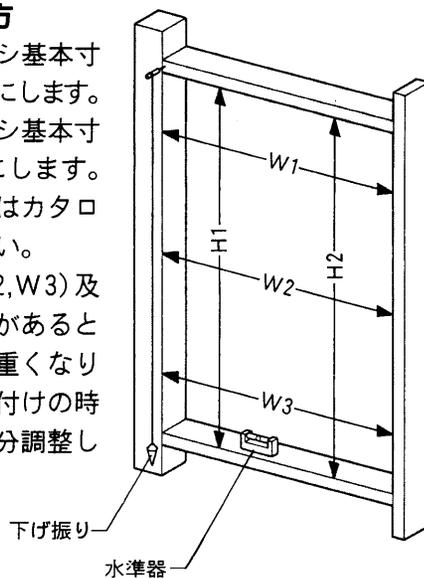
- 造作材を取り付けた後、室内側から皿木ねじで固定します。



■サッシ本体の取付け詳細

1 開口部の作り方

- 開口部は、サッシ基本寸法(W)+10mmにします。
- 開口高さはサッシ基本寸法(H)+5mmにします。
- ※サッシ基本寸法はカタログをご覧ください。
- 右図の(W1,W2,W3)及び(H1,H2)に差があるとハンドル操作が重くなりますから、仮取付けの時に、カイ物で十分調整してください。



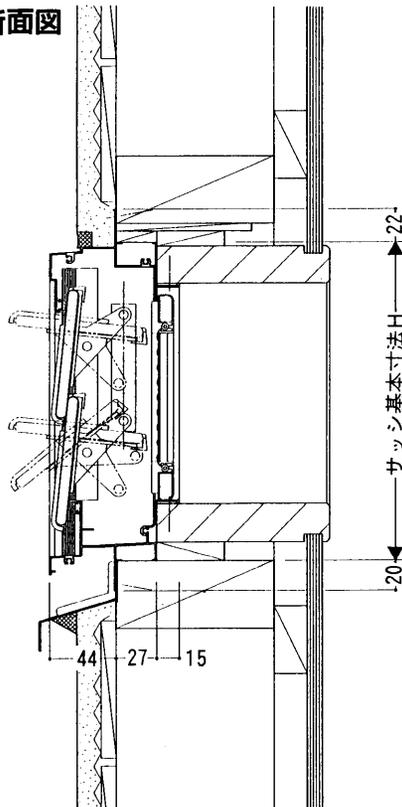
■ガラス

注意

- 調整は、必ず前に行ってください。
- 名刺等をガラスの間に挟むと、ガラスの間に隙間ができてしまう場合があります。必ず隙間がないように調整してください。

■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図(単体)



# スルーバー窓

# 取付け説明書

■ルーバー部のガラスを別途用意する場合、下記の寸法で切断してください。

(ガラス厚は6mm又は6.8mm用を使用してください。)

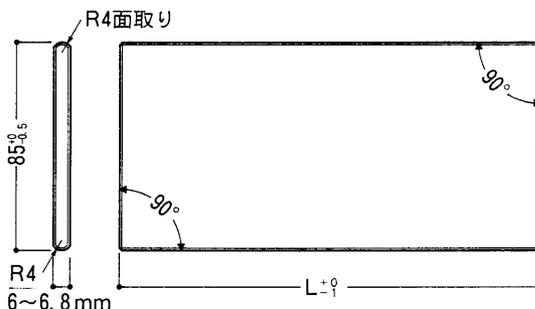
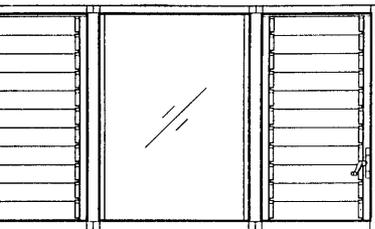
※L = サッシ基本寸法W - 103mmです。

※ガラス寸法の誤差が大きいと開閉が重くなったりガラスの合わせ面に透き間が生じます。

※網入ガラスをご使用の場合は、ガラス切断面に防錆処理を施してください。

表示です。  
ルーバー窓・F: FIX窓

## JF Jタイプ



### ●204工法用(204ガラスルーバー窓)

6.0尺	W		1.5尺	2.0尺	3.0尺
	H	メーカ呼称	04	06	07
85×741(8)	1.5尺	04	85×302(6)	85×537(6)	85×627(6)
85×741(10)	2.0尺	06	85×302(8)	85×537(8)	85×627(8)
85×741(14)	2.5尺	07	85×302(10)	85×537(10)	85×627(10)
85×741(18)	2.7尺	08	85×302(11)	-	85×627(11)
85×741(22)	3.0尺	09	85×302(12)	85×537(12)	85×627(12)
85×741(28)	3.2尺	099	85×302(13)	-	85×627(13)
85×741(32)	3.5尺	10	85×302(14)	85×537(14)	85×627(14)
85×741(36)	3.9尺	11	85×302(15)	-	85×627(15)
-	4.0尺	12	85×302(16)	85×537(16)	85×627(16)
-	4.5尺	13	85×302(18)	-	85×627(18)
-	6.0尺	18	85×302(25)	-	-

### ●JFタイプ ●F Jタイプ

H	W	4.5尺	6.0尺
	2.0尺	85×302(7)	-
2.5尺	85×302(9)	85×497(9)	-
	699×769(1)	699×1026(1)	-
3.0尺	85×302(11)	85×497(11)	-
	851×769(1)	851×1026(1)	-
3.5尺	85×302(14)	85×497(14)	-
	1002×769(1)	1002×1026(1)	-
4.0尺	85×302(16)	85×497(16)	-
	1154×769(1)	1154×1026(1)	-
4.5尺	-	85×497(18)	-
	-	1305×1026(1)	-

### ●JF Jタイプ

H	W	4.5尺	6.0尺
	2.0尺	85×302(14)	85×302(14)
548×360(1)		548×812(1)	-
2.5尺	85×302(18)	85×302(18)	-
	699×360(1)	699×812(1)	-
3.0尺	85×302(22)	85×302(22)	-
	851×360(1)	851×812(1)	-
3.5尺	85×302(28)	85×302(28)	-
	1002×360(1)	1002×812(1)	-
4.0尺	85×302(32)	85×302(32)	-
	1154×360(1)	1154×812(1)	-
4.5尺	-	85×302(36)	-
	-	1305×812(1)	-

### JFタイプの場合

→ルーバーガラス寸法
→FIXガラス寸法

用枚数。

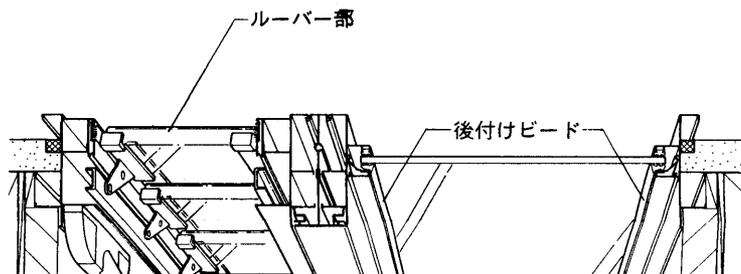
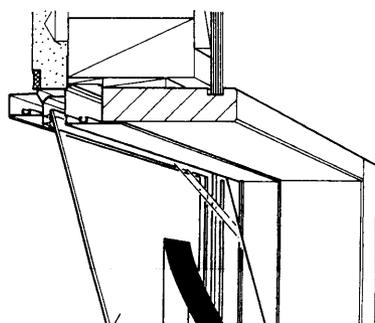
### □FIX部のガラス入れ

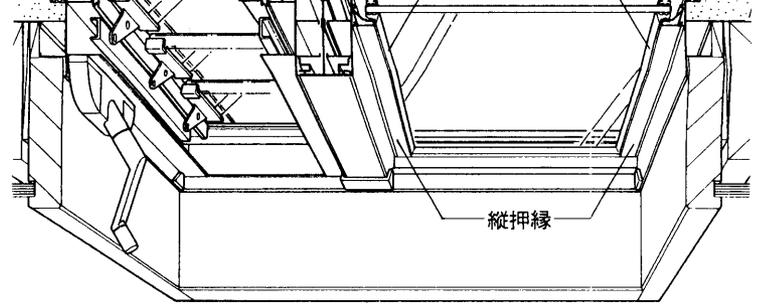
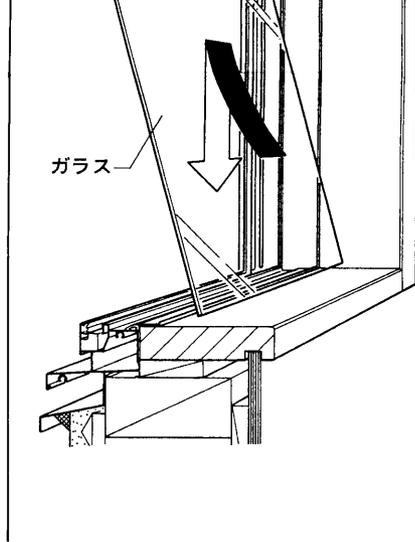
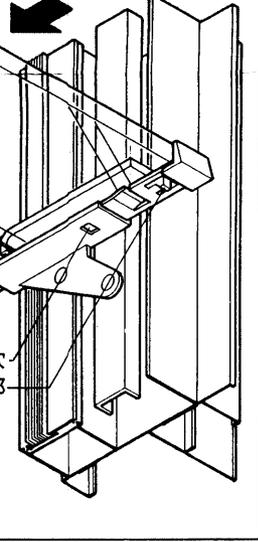
(内観図)

手で引  
を強く

入って

押し込む





## ■ ガラスルーバー開閉時の不具合の調整

### ☞ 注意

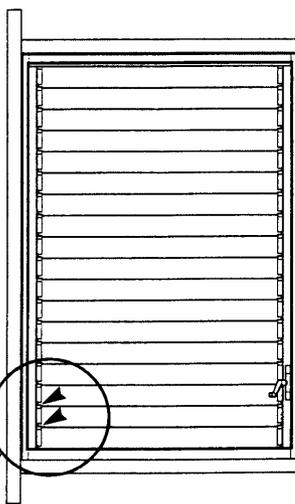
調整は、必ず本固定をする前に行ってください。

- 名刺等をガラスとガラスの間に入れて、透き間の無いことを確認してください。透き間のある場合は、本体がゆがんでいます。枠の固定ねじをゆるめ、右図のようにカイ物を入れて屋外から調整した後、本固定してください。

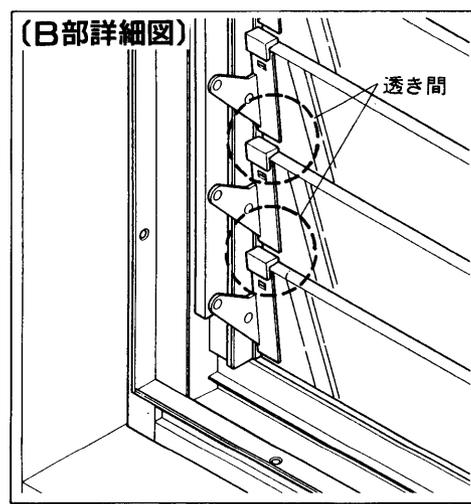
### B部

ガラスの重なり部分の透き間

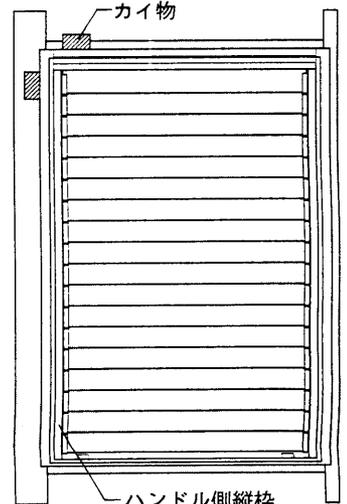
### 室内側



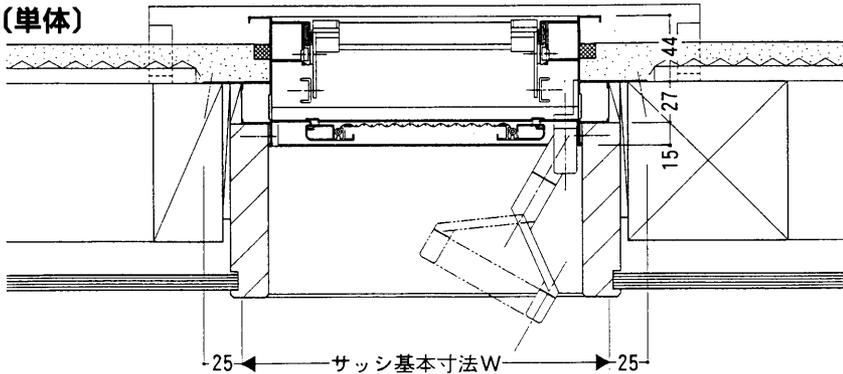
### (B部詳細図)



### 屋外側



## 断面図(単体)



## (連窓)

